

2024年度 新規採用者は351人



4月1日、医療法人鉄蕉会では351人の新入職員を迎え、入職式が行われました。

会場の都合上、医師とその他の職種とで2回に分けて入職式が行われ、医師向けの入職式で亀田隆明理事長は「常に最高レベルの医療を目指し、知識や技術を身につけ、大いに活躍してくれることを期待している」と訓示。一方、看護師や医療技術、事務労務職向けの入職式では、亀田俊明亀田総合病院院長が「地域医療を担う当院では都内の病院では経験できない学びの機会がある。医療は社会貢献につながる仕事。プライドを持って研鑽を積んでほしい」と、訓示しました。

新入職員の内訳は以下のとおり

新入職員の内訳は以下のとおり

《鴨川事業所》326人

- ・医師87人(初期研修医24人、歯科研修医6人含む)
- ・看護師140人・医療技術68人・事務労務31人

《その他事業所》25人



薬局よりお知らせ

一包化の内袋廃止について

当院では、服用するタイミングが同じおくすりや、1回に複数個服用するおくすりを1袋ずつパックにする「一包化」を無償対応しています。この度、内袋を廃止し、紙の薬袋を「朝」「昼」「夕」「寝る前」で分けてお渡しする方法に運用を変更しました。薬袋の記載通りに薬を飲んでいただければ、飲み間違えをせず服用することができます。

変更前



変更後



眼科 部長が着任

4月より新たに東京大学医学部眼科学教室より杉本宏一郎医師が眼科部長として着任いたしました。

【着任のご挨拶】開業医の先生方との病診連携を進めながら、当院の強みである白内障、緑内障、網膜硝子体診療で地域の皆様のお役に立てるよう努めて参ります。しかしながら、まだ人員不足は否めず、今後も眼科医の充足を図ってまいります。しばらく地域の皆様にご不便をおかけすると思っておりますが、ご理解くださいます様よろしくお願い申し上げます。



ゴールデンウィーク



歯科 診療情報

亀田クリニック休診中の5月3日(金)・4日(土)・6日(月)の3日間、救命救急センター内に歯科医師が常駐して急な口腔トラブルに対応します。

通常診療とは異なり、あくまでも応急処置のみとなります。休日や夜間に急な歯痛や腫れなど口腔内のトラブルでお困りの際は、まず電話でお問い合わせください。

お問い合わせ先 04-7092-2211



営業時間変更のお知らせ



カフェテリア Kai (クリニック6階)

- ・月～金 10:00～16:30(ラストオーダー16:00)
- ・土 10:00～15:00(ラストオーダー14:30)



レストラン亀楽亭 (Kタワー13階)

- ・月～土 11:00～17:00(ラストオーダー16:30)
- ※鉄板焼き・大小宴会完全予約制 17:00～20:00

日・祝日休業



ユニクロ

- ・月～日 9:30～18:30(定休なし)

《亀田クリニック(医科・歯科)6月から第3土曜日休診へ》

亀田クリニック5階「健康管理センター」11月末まで第3土日も人間ドック・健診業務を継続

亀田総合病院の外来診療(C棟の診療科、ARTセンターなど) 6月以降も第3土曜日は通常診療



ストップ

ザ イビキ

そのイビキ、鼻づまりや扁桃腺が原因かもしれません??

番外編

耳鼻咽喉・頭頸部外科 越智 篤

第2話

前回はイビキおよび閉塞性睡眠時無呼吸症(以下 無呼吸)について、耳鼻咽喉科が関わる病態のうち鼻づまりについて、成人と小児に分けて無呼吸との関わりを解説しました。今回は扁桃腺・アデノイドと無呼吸の関わりです。

扁桃腺・アデノイドと無呼吸

小児、とくに3歳から7歳まででひどいイビキや無呼吸の原因で最も多いのは、扁桃腺およびアデノイドです。幼児期はとくに病気がなくても扁桃腺やアデノイドが成人とくらべて大きく、のどがまだ狭いため扁桃腺やアデノイドがほかの子より少し大きいだけで夜中にのどの閉塞を起こします。就学前のお子さまで毎日のようにイビキをかいている場合、ある程度以上の無呼吸になっていることが多く治療が必要です。検査は成人と同じ自宅での睡眠検査や入院でのポリソムノグラフィを行います。成人とは解釈が異なりむずかしい部分があります。お子さまが寝ている間の親御さんの観察や、録音、ビデオ撮影が大事な情報になるため、受診時には詳細に問診をさせていただきます。



成人の扁桃腺やアデノイドについては、小児と同じでとても大きい場合は無呼吸の原因になります。ただし、小児とくらべると成人はもともと扁桃腺やアデノイドが小さいため20歳以上で無呼吸になるほど扁桃腺が大きい方は稀です。成人患者さまの場合、肥満によって扁桃腺の間の隙間が左右から押し縮められて無呼吸の原因となることが多いです。

治療法

小児の場合 鼻づまりが併存しているとイビキや無呼吸がひどくなりやすいため、まずは鼻の治療を試みて改善しない場合は扁桃腺もしくはアデノイドの手術をします(全身麻酔)。しっかり術前の評価をしてから扁桃腺とアデノイドの手術をすると、イビキと無呼吸が改善する割合は高く、中途覚醒や夜泣きが減ったり、すっきり起床できるようになったと親御さんに感謝されることも多いです。

すっきり起床



扁桃腺とアデノイドがさらに大きくなると食べ物を咀嚼(しゃく)するとき鼻呼吸ができなくなるため、あまり噛まずに食べられる柔らかい食事しか食べなかったり少量しか食べられなかったりしますが、手術によって咀嚼中の鼻呼吸ができるようになると、おいしく食べられるようになったり、たくさん食べられるようになります。

成人の場合 扁桃腺・アデノイドが非常に大きければ、扁桃腺の摘出術でイビキや無呼吸が改善する可能性があります。適応となる患者さまは少数です。

また、おとなの無呼吸については扁桃腺の間にある口蓋垂(のどちんこ)の粘膜を切り取ったり、レーザーで収縮させるなどして息の通り道を広げる手術も有効です(軟口蓋形成手術)。ただし、この手術は効果が長続きしないことがあったり、レーザーで焼いた粘膜が術後半年以上経ってから硬くなりかえって術前より息の通り道が狭くなることもあるため、当院では軟口蓋形成手術は行っておりません。ご希望の際は東京の病院を紹介しています。肥満の方は痩せるのが一番の治療になります。



医療エッセイのバックナンバーはこちらからご覧いただけます。

<https://medical.kameda.com/general/about/magazine/index.html>

医師紹介

こまつ ひでき
小松 英樹 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①心療内科・精神科(部長)
- ②地域精神医療、IT技術を用いた精神疾患治療
- ③料理、パン作り、ドライブ、ハングライダー
- ④メンタル面についての問題はなんでも御相談ください。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <https://www.kameda.com>

